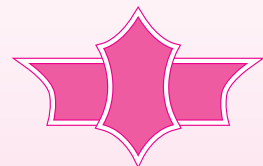


おばま



市議会だより

No. 120

編集・発行 小浜市議会広報委員会



人魚の浜海水浴場浜開き（小浜海浜小公園にて）

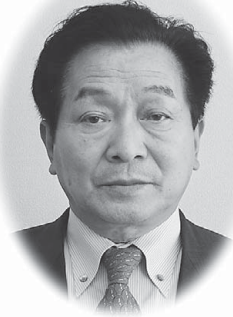
主 な 内 容

| | |
|----------------|---------|
| ●議長就任のごあいさつ | P 2 |
| ●6月定例会の概要 | P 2 |
| ●予算常任委員会を新たに設置 | P 3 |
| ●6月定例会での主な質疑 | P 4 |
| ●市政を聞く一般質問 | P 5～P 6 |
| ●委員会などの改選のお知らせ | P 7 |
| ●可決した意見書の概要 | P 8 |

http://www1.city.obama.fukui.jp/obm/gikai/frame_top.htm

URLが変わりました。お手数をおかけします。

議長就任のごあいさつ



このたび第43代小浜市議会議長に就任いたしました清水でございます。

さて、昨年の米国サブプライムローン問題に端を発した、百年に一度といわれる経済危機により、日本経済を支えてきた製造業などの基幹産業が衰退し、派遣切りや雇用止めなどの雇用問題に発展するなど、国民の暮らしを直撃しています。

また、国は度重なる経済対策や緊急雇用対策を講じてはいるものの、本市を初めとする地方経済の回復に対しては、決して満足できる状況にはありません。

このように厳しい経済状況ではありますが、本市はNHK朝の連続ドラマ「ちりとてちん」の放映や、米国オバマ大統領の波及効果などで、

全国的にも知名度を高め、観光客数は増加傾向にあるなど、大きなチャンスを手にしています。

そのチャンスを生かすためには、政策はもろろん、市民一人一人が高い意識を持って「おばまブランド」力を高めていくことが不可欠であり、市長の掲げる観光局構想と考え方を同じとするものであります。

そのためにも、市民の皆さまが求められている「安全で安心な住みよいまちづくり」を進めることが重要であり、平成13年より進めている食のまちづくりも、今までの教育や産業・観光中心の施策から、農業分野、そして健康分野にもっと力を注ぎ、真の食のまちづくりを進めていかなければなりません。

健康長寿社会実現を通じて安全で安心の住みよいまちづくりを誠心誠意、力を尽くしてまいりますので、皆さまの変わらぬご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

小浜市議会議長
清水 正信

6月定例会の概要

◎議案の議決状況 (詳しい議決結果は議会ホームページに掲載しています)

| 区分 | 可決件数 | 可決議案の主な内容 |
|-----|------|--|
| 予算 | 3件 | 21年度各会計補正予算 |
| 条例 | 2件 | 小浜市議会委員会条例の一部改正について 小浜市簡易水道設置条例の一部改正について |
| 人事 | 3件 | 固定資産評価審査委員会委員の選任について 人権擁護委員の推薦に同意を求めることについて |
| その他 | 6件 | 辺地の総合整備計画の変更について 食料・農業・農村政策に関する意見書ほか |

平成21年第3回定例会は、平成21年6月8日から29日までの22日間の会期で開催しました。

今定例会は、20年度各会計予算の繰越関係および本市が出資する各法人の経営状況の報告6件を受理したほか、国の緊急経済対策を含む補正予算案や

人事案件への同意のほか、議員提案による意見書など、全14件の議案を議決しました。

また、つばき回廊跡地対策特別委員会および有害鳥獣対策特別委員会の設置を行い、閉会いたしました。

議決の内容は次のとおりです。

人事案件に同意

各行政委員の任期が満了することに伴い、6月定例会において次のとおり同意いたしましたのでお知らせいたします。

- 《固定資産評価審査委員》
地村 太市郎氏 (飯盛：新任)
- 《人権擁護委員へ推薦同意》
中嶋 昭義氏 (生守：新任)
- 上島 史生氏 (遠敷2：新任)

◎陳情の議決状況

| 採択件数 | 主な内容 |
|------|------------------|
| 1件 | 食料・農業・農村政策に関する要請 |

◎可決した会計別補正予算額

| 会計区分 | 補正予算額 | 補正後の予算額 |
|------|-----------|--------------|
| 一般会計 | 670,907千円 | 14,543,590千円 |
| 特別会計 | 829千円 | 9,983,866千円 |
| 企業会計 | 0千円 | 921,291千円 |
| 合計 | 671,736千円 | 25,448,747千円 |

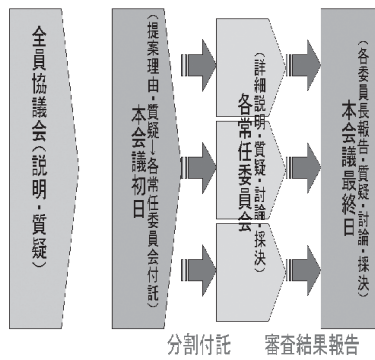
予算常任委員会を新たに設置!!

今までの予算審査の問題点

審査方式：分割付託

- ①議案不可分の原則に違反
- ②修正案の提出などの条件を揃えにくい
- ③各常任委員会の審査結果が異なる場合の対応が困難

予算議案に対しては議会の権限行使が困難

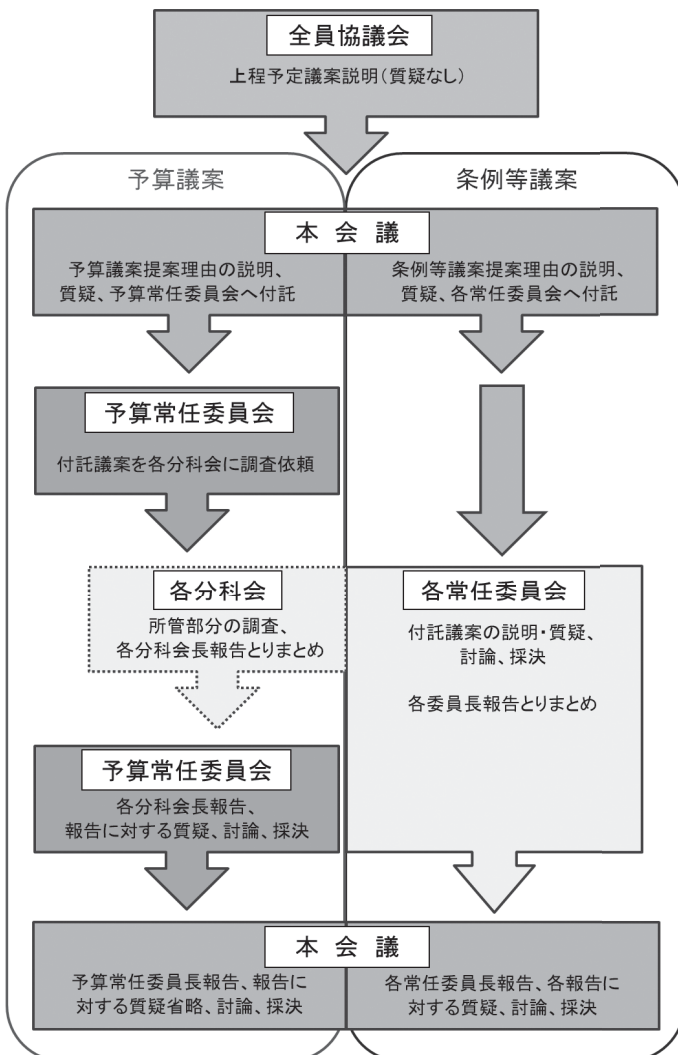


議会改革の一環として、6月定例会から議長を除く全議員で構成する予算常任委員会を設置しました。

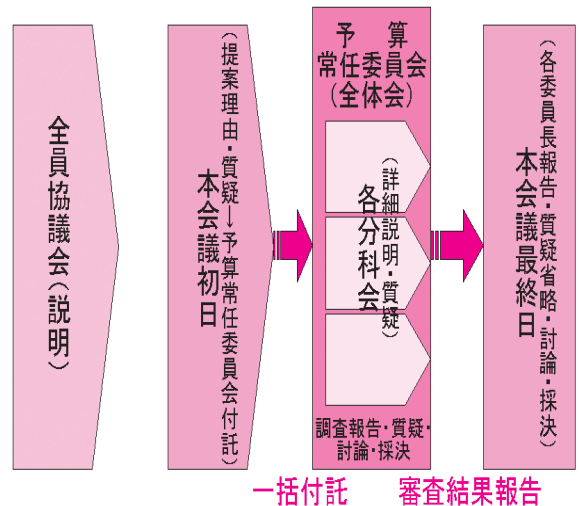
これは、予算議案の審査を専門に行う常任委員会を、県内の議会でも設置されている委員会です。

設置により慎重に、かつ専門的に審査することができ、場合によっては予算議案の修正や否決など、今まで以上に予算に対しチェックを強化できるものと考えております。

議案の処理イメージ図(全体)



予算議案の審査方法(変更後)



- ① 予算に関する情報格差がなくなる
全議員が同じ情報を共有することができるようになりました
- ② 予算議案に対する意思の明確化
分科会の調査結果をもとに、議会としての明確な結論を出せるようになりました
- ③ 横割りで予算議案を審査できる
同じような事業がいくつもあるなど、予算のムダ使いは見逃しません

予算常任委員会委員長報告より (概要)

今期定例会においては、次のとおり、予算関連議案を審査いたしました。

採決の結果は、挙手全員で、原案どおり可決であります。

議案第 67 号は、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ、5,520 万 7,000 円を追加し、総額をそれぞれ 139 億 3,789 万円とするものであり、主な事業ではコミュニティ助成事業、放課後児童対策事業、まちづくり交付金事業、地域の景観づくり推進事業、学校図書館の活性化推進総合事業のほか、債務負担行為の補正、地方債の補正であり、重要課題の補正として妥当かどうかにかんして力点を置き、審査いたしました。

議案第 68 号は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ 82 万 9,000 円を追加し、総額をそれぞれ 28 億 1,439 万 5,000 円とするものであり、内容は介護保険料の趣旨普及費諸経費で、特別会計の補正として妥当かどうかにかんして力点を置き審査いたしました。

議案第 72 号は、歳入歳出予算総額にそれぞれ 6 億 570 万円を追加し、総額をそれぞれ 145 億 4,359 万円とするものであり、内容は経済危機対策関係係費の補正で、財源構成により、大きく 3 つに分かれております。

主な事業としては、

- (1)国の施策と合わせた地域における公共投資である「地域活性化・公共投資臨時交付金事業」(補助ベース:3億8,200万円)では、①森林管理道開設事業、②林道改良・舗装事業、③漁港整備、④学校地デジ整備、⑤学校耐震化推進が計上。
 - (2)地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現などをめざす「地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業」(補助ベース:1億5,800万円)では、①環境対応車導入事業、②私立保育園助成、③自主防災組織の育成、④重伝建地区保存修理事業など22事業が計上。
 - (3)雇用対策である「緊急雇用創出事業」(補助ベース:1,900万円)では、①防災救助工具の配備、②保育園・学校・公民館等の環境整備、③市道の環境整備など11事業がそれぞれ計上されております。
- 審査の主眼は、それぞれ趣旨に合致した事業であるかどうか、真に必要な事業であるかどうか、特に、緊急雇用対策事業では雇用の効果、新規雇用の創出面に期待できるかなどに置かれ、事業の執行に当たっては、本市の実態や実情に即したきめ細やかな対応を求める意見や指摘がありました。

予算常任委員会の審査状況

◎審査結果

| | |
|---|--------------|
| 議案第 67 号 平成 21 年度小浜市 一般会計補正予算 (第 3 号) | 原案可決 とすべき |
| 議案第 68 号 平成 21 年度小浜市 介護保険事業特別会計 補正予算 (第 1 号) | 原案可決 とすべき |
| 議案第 72 号 平成 21 年度小浜市 一般会計補正予算 (第 4 号) | 原案可決 とすべき |

Q.コミュニティ助成事業で5件助成決定しているが、それ以外はなかったのか？

A.申請は10件あり、市の方で緊急性、公共性、コミュニティ活動に資するものかどうかというようなことを審査して県へ申請している。そして順位付けの5番目までが今回の採用でとなった。

(企画総務常任委員会より)

Q.図書館あり方検討委員会を設置し、3回の会議で結論を出せるのか？

A.市立図書館の5年後の移転等の場合を考え、答申案を作成してその中身を審議していただくので3回程度の会議でよいと思っている。

Q.あり方に対する答えありきの諮問ではないか。市立図書館の移転や廃止など、自由な広い意見を聞く必要があるのではないのか？

A.県立図書館との統合や他の施設に移転した場合等あらゆるケースを考えて、広く市民から意見を聞くためのたたき台となるものを作成し、検討していただく。

(民生文教分科会より)

6月定例会での主な質疑

Q.水道料金は、上水道と簡易水道など個々の施設で料金や改定率の幅が異なるが不公平感がでないか？

A.簡易水道料金は、施設の事業費と利用者数、計画給水量、地元負担、起債の償還分を水道料金に含めた形で算定している。簡易水道施設は18施設あり、会計全体で何とか黒字を保ってきたが、建設経緯、補助金の種類、使用水量、コスト等が施設ごとに異なっていることから、今回必要な箇所だけ上げさせていただいた。

今後は水道ビジョン策定を通じ、料金負担の公平性の確保や上水道とのバランスなど、各種課題の解決に努めていきたい。

(産業常任委員会より)